

データ抽出の操作手順

抽出プログラムの機能：

指標値型データの抜き出し PGM は、Excel シート上にある項目一覧表の各項目の抜き出し指示にしたがってデータを抜き出す。抜き出しは RID 項目の指定、データセルの指定、レコード数の指定が可能である。

Excel-VBA で作成してある（Microsoft 社の Excel が必要）。

手順概要：

Excel を起動したのちに抽出用プログラムを開いてください。抽出プログラムは指標値型データと同じところに記録されている。プログラム名は町丁字等別その 1 の場合は「SELH12KK1T.xls」です。

プログラム起動後の処理は、次の 2 つのステップに分かれる。

1. Excel シートの項目一覧表上に抜き出しの指示をする。
抜き出したい項目に * を入れる。
2. 抜き出し元となるファイル、抽出済み結果の保存先、最大レコード数を指示し、抜き出しを実行する。

補足：

小地域集計（基本単位区別、町丁字等別）は集計値のほかに次の情報が不可されている。この情報は RID 項目に記録されている。

(1) 秘匿情報

小地域集計（基本単位区別、町丁字等別）は秘匿措置がされている。

秘匿情報は秘匿地域の町丁字コードであり、秘匿先、秘匿元の 2 種類の意味合いがある。秘匿についてはこの説明書の最後の項を参照のこと。

(2) 町丁字名称

漢字の町丁字名称を記録している。

(3) 中心点座標

基本単位区別集計の場合にのみ、緯度と経度の情報を記録している。

操作手順：

1．抽出プログラムの起動

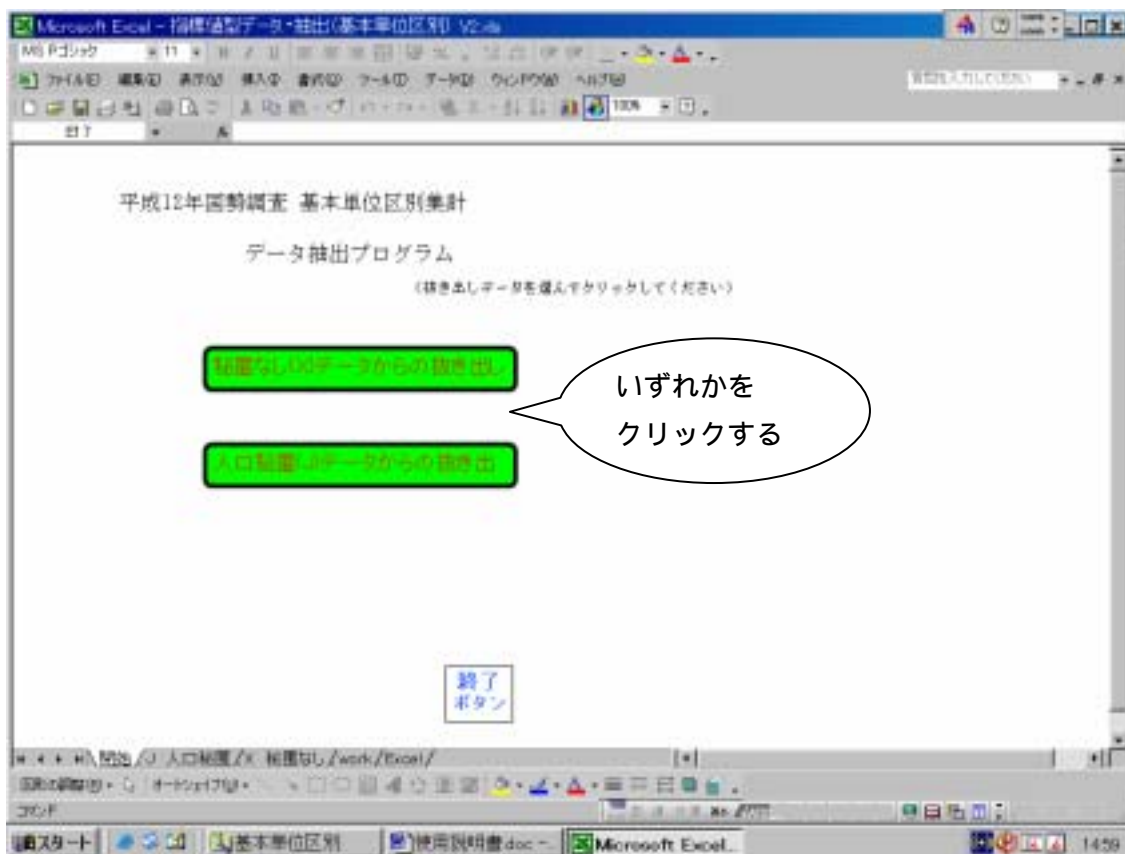
「SELH12KK1T.xls」を Excel に読み込んでください。次の画面が表示されたら「マクロを有効にする (E)」をクリックする。



この画面が表示されない場合は Excel の「ツール」, 「マクロ」, 「セキュリティ」でセキュリティレベルを「中」にして下さい。

2．最初の画面では秘匿タイプを選ぶ。

クリックするとそれぞれのタイプの項目選択 Excel シートが表示される。



基本単位別集計の秘匿は次の2種類があり、種類ごとにファイルが分かれています。

人口数秘匿：「一般世帯数」と「施設等の世帯人員」の合計が1～3の地域。

秘匿なし：秘匿しない(人口総数、世帯総数など)

(各ファイルの集計項目は次の画面で表示されます。ドキュメントでは項目一覧表を参照してください。ドキュメントの項目一覧表はファイル別になっている)

2．Excel シート上に必要事項を記入(キーイン)する。

(1) RID の選択

ファイルアイデントから市区町村番号 + 町字コードまでの項目のうち、抜き出したい項目には、第 1 列目に * (大文字、小文字いずれでも OK) を入れる。また、3 列目以降の列に抜き出し対象となるデータのコードを記述する。複数ある場合は 4 列目、5 列目と順次記述する。

(2) 集計数値項目の選択

抜き出したい項目には、第 1 列目に * (大文字、小文字いずれでも可能) を入れる。

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled "指標値型データ・抽出(基本単位別) V3.xls". The spreadsheet is used for configuring data extraction. It includes a list of items to be extracted, each with a column for selection (marked with an asterisk) and columns for codes. A callout box explains that asterisks are used for selection and codes are used for specific data points. Another callout points to a button that triggers the extraction process.

Item	Selection	Code 1	Code 2	Code 3	Code 4
指標値型データの抜き出し					
平成12年国勢調査 小地域集計 基本単位別集計					
以下の区分で必要なものがあれば項目の横(の秘)にコードを記述する。 記述例: 市区町村番号の201と202を抽出対象とする場合					
"市区町村番号"		201	202		
必要な項目には*を					
* "ファイルアイデント"	*				
* "県番号"	*				
* "市区町村番号"	*				
* "表章地域区分"	*				
* "町字等コード"	*				
* "町字等名称"	*				
* "基本単位区番号(9桁)"	*				
* "調査区番号: 主番号(4)+後置番号(1)+単位番号(2)"	*				
* "人口集中地区"	*				
* "秘匿区分"	*				
* "秘匿・合算符号"	*				
* "秘匿地域コード"	*				
* "秘匿度"	*				
* "総数"	*				
以下はデータ項目					
抜き出す項目を*にする。					
指定が終了したら、このボタンを押す。----->					
* せ61/001 表・表頭1番目; 総数(人)	*				
* せ62/001 表・表頭2番目; 総数(人)	*				
* せ63/001 表・表頭3番目; 総数(人)	*				
* せ64/001 表・表頭4番目; 総数(世帯)	*				

Callout 1: 抜き出し対象を絞る場合は、例に従ってコードを書く。複数ある場合は右に向かって記述していく

Callout 2: 必要な項目に*を入れる。*は英字でも2バイト系でもOK。

Callout 3: 指示が終わったこれをクリックする。抜き出し画面が表示される。

3. 指標値型 CSV ファイル等の必要事項を指定する。

抜き出し結果の
タイプを選ぶ

「実行」ボタンをクリックして抽出を開始させる。

抽出が終了したら「もどる」ボタンをクリックする。

利用上の留意点

(1) 秘匿について：

平成 12 年集計での秘匿は一定規模以下の地域の集計結果を秘匿する。すなわち、秘匿対象となる地域は全ての集計表において秘匿される。秘匿は次の三タイプとなっており、指標値型 CSV データは集計表をこの 3 タイプに分類し、タイプごとに地域で 1 データとしてとりまとめたものである。秘匿されたデータは一定の手順に基づいて他の地域に足し上げられ、どこからどこへ足し上げられたのかの情報は CSV データの最後に記録している。

1. 世帯に関する秘匿

各地域において一般世帯数が 1~3 の地域が秘匿される。

2. 世帯に人口に関する秘匿

各地域において一般世帯数と施設等の世帯人員の合計が 1~3 の場合に秘匿する。

3. 秘匿なし

秘匿措置なし

統計局で集計した集計表（TEXT 形式としてシンフォニカから提供中）と秘匿の関係は次のとおりであり、指標値型 CSV データは秘匿が同じものを集計区分ごとに一つのデータにまとめている。

基本単位区別集計

第 1 表（秘匿なし）、第 2 表（人口秘匿）、第 3 表（秘匿なし）

町丁字等別集計その 1

第 4 表（秘匿なし）、第 5 表、第 6 表（人口秘匿）

第 7 表（秘匿なし）、第 8 表～第 14 表（世帯秘匿）

町丁字等別集計その 2

第 15 表～第 21 表（人口秘匿）、第 22 表、第 23 表（世帯秘匿）

町丁字等別集計その 3

第 24 表、第 25 表（人口秘匿）、第 26 表（世帯秘匿）

従業地・通学地

第 27 表、第 28 表（人口秘匿）

人口移動

第 29 表（人口秘匿）

(2) 集計データについて

集計値なしは数字の「0」、秘匿され隠されたデータはブランク（桁の「 」）としている。（すなわち、統計局での集計は「-」を「0」、「ブランク」を「ブランク」としている。）